

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】 第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】 平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)

【公表番号】 特表 2007-526021(P2007-526021A)  
 【公表日】 平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)  
 【年通号数】 公開・登録公報 2007-035  
 【出願番号】 特願 2006-536853(P2006-536853)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 N 1/372 (2006.01)**

**A 6 1 N 1/05 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 N 1/372

A 6 1 N 1/05

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 10 月 22 日 (2007.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の心臓（12）の心筋（32）にリードの遠位端部を固定する心筋リード取付けシステム（10）であって：

前記取付けシステム（10）は、アンカ（44）と前記アンカに結合されたテザー（45）と、前記テザーがトラクトを通して前記アンカ（44）から近位に延びるように前記アンカ（44）を受け、近位入口部位から遠位出口部位まで心臓のトラクトを通して前記アンカを進める搬送機器（50）とから構成され；

前記搬送機器（50）は、遠位先端（60）と、この遠位先端（60）の近くに位置し且アンカ（44）を受けとるようにサイズ決めされたネスト（62）とを具備した針（58）を有すると共に、前記アンカ（44）を前記ネスト（62）から押し出す押し出し機構（66）とから構成され；

前記ネスト（62）には針管腔（59）に対して開いている細長いスロットが設けられていることを特徴としたシステム。

【請求項 2】

前記押し出し機構は、前記アンカ（44）を前記ネスト（62）から押し出すためのアクチュエータ（84）をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項 3】

近位端部、遠位端部、前記テザー（45，1045，1112，1208，1308，1412，2106，2146，3045，4045）を受け取るための管腔（1043，1110，1214，2146，1310，1410，2155，3052，4043）を有するリード本体（36，1036，1102，1204，1304，1402，2102，2142，3036，4036）をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項 4】

前記リード本体（4036）とは別であり、前記リード本体（4036）の前記遠位端部（4042）に隣接して配置される先細り先端（4054）をさらに備え、その先端（

４０５４）は、前記テザー（４０４５）を受けるために長手方向のスルー・ホール（４０５６）を有することを特徴とする請求項３に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項５】

前記先細り先端（４０５４）は、溶解可能材料で形成されることを特徴とする請求項４に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項６】

前記先細り先端（４０５４）は、治療薬品溶出材料で形成されることを特徴とする請求項４に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項７】

前記リード本体（４０３６）の前記遠位端部（４０４２）において固定機構（４０６２）をさらに備え、前記固定機構は、埋込み中、第１位置に畳まれており、埋込み後、第２位置に展開するように適合されることを特徴とする請求項３に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項８】

前記テザー（４５，１０４５，１１１２，１２０８，１３０８，１４１２，２１０６，２１４６，３０４５，４０４５）または前記アンカ（４４）のどちらかは、生吸収性または生分解性のポリマーで形成され、前記リード本体（３６，１０３６，１１０２，１２０４，１３０４，１４０２，２１０２，２１４２，３０３６，４０３６）の部分の回りに瘢痕組織が形成されるのを促進するために、前記リード本体（３６，１０３６，１１０２，１２０４，１３０４，１４０２，２１０２，２１４２，３０３６，４０３６）の一部の上に形成された表面形態をさらに備えることを特徴とする請求項３に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項９】

前記テザー（１０４５，４０４５）の上のロック構造（１０４８，４０６０）と、前記管腔（１１１０，４０４３）におけるロック・ハウジングであって、前記ロック構造は、ロック・ハウジング（１０４９，４０６１）と嵌合し、近位方向または遠位方向において前記テザー（１０４５，４０４５）に対して前記リード本体（１０３６，４０３６）の動きを制約する、ロック・ハウジング（１０４９，４０６１）をさらに備えることを特徴とする請求項３に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項１０】

前記ロック・ハウジング（１０４９，４０６１）に近接して前記テザー（１３０８）を前記リード本体（１３０４）に係合させる近位ロック（１３１２）をさらに備え、前記近位ロック（１３１２）は、前記リード本体（１３０４）の前記近位端部に摩擦係合して前記テザーを固定するために、前記テザー（１３０８）の上に形成された第２ロック構造を備える請求項９に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項１１】

前記ネストは前記デザー（４５）を受け入れるためのデゼースロット（７８）を備えることを特徴とする請求項１に記載の心筋リード取付けシステム。

【請求項１２】

前記ネスト（６２）は傾斜（７６）を備え、前記アンカ（４４）を傾斜し、前記傾斜（７６）の上に載り前記ネスト（６２）の外に出るようになっていることを特徴とする請求項１に記載の心筋リード取付けシステム。